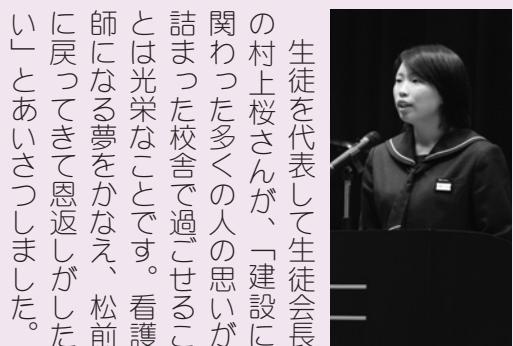


まちの話題

新生松前中学校

完成を祝って

公開授業



10月17日、松前中学校の完成を祝う「新生松前中学 校舎記念事業」と公開授業が行われました。生徒137名と関係者約160名が集まった式典で石山町長は、「この新しい学校で大きな夢と希望を持ち、校舎に愛着を持つて勉強にスポーツに思う存分取り組んでください」と式辞を述べました。

新生松前中学校 記念事業
10月17日、松前中学校の完成を祝う「新生松前中学 校舎記念事業」と公開授業が行われました。

式典に先立ち行われた公開授業では、書道や柔道、数学や理科の授業に真剣に取り組んでいました。

道の授業では、東京学生柔道連盟の大八木諭さん（東京松前会会長）や青井久幸さんからも指導いただきました。

午後には、2台のヴァイオリンとピアノによる「トリオアンソニエ」コンサートが開催されました。北海道文化財団の支援を受け開催されたもので、約250名の観客が柔らかな優しい音色を楽しみました。パッヘルベルの「カノン」やディズニーの「小さな世界」が演奏され、観客は大きな拍手を送っていました。



野鳥を身近に感じて 野鳥観察会

10月10日、白神の天狗山付近において野鳥観察会が行われ、町内外から約20名が参加しました。

当日は、日本野鳥の会南樽山支部・バンティング研究会の田中正彦さんらが、調査のため網で捕獲した野鳥を見せながらウグイスやメジロ、モズなどの特徴や習性について説明しました。

これからもお元気で
長寿の集い

9月30日、町民体育館で平成27年度長寿の集いが開催され、約440名が参加しました。

アトラクションの津軽圭助一行の唄と踊りに酔いしれ、漫芸ショードではお腹をかかえて大いに笑いました。お楽しみ会では参加者の元気なカラオケや舞踊、子どもたちのかわいい踊りに声援や拍手を送つて楽しい時間を過ごしました。



参加者は実際に鳥に触れ、心臓の鼓動を感じ、野鳥を観察しました。



間近で見る野鳥に興味津々

書道で防火意識を高める



書道を通じ、学校や家庭内における火災予防の意識を高めてもらおうと第27回防火作品展が開催され、10月15日、優秀作品の表彰式が行われました。

防火・防災・火災予防をテーマにした作品展には、町内の小中学生から書道296点の応募があり、その中から、次のとおり入選しました。

▼佳作	
堀 美咲	(松前中2)
河野 うらら	(松前中1)
河野 隼人	(松城小5)
齊藤 麻斗	(大島小4)

▼優秀賞	
今本 悠月	(松前中2)
川原 里帆	(松前中2)
秋田 心夏	(松城小5)
可香 真翔	(大島小4)



▼最優秀賞
小野寺結香 (松前中3)

「視聴覚資機材」を整備 救急講習など幅広く活用



松前消防署では、財団法人自治総合センターの「ミユコニティ事業により、「視聴覚資機材」を整備しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図ることとともに、宝くじの社会貢献広報を目的に行われているものであります。

今後、避難訓練や防災訓練、救急講習などに幅広く活用していくことにしてい

ます。
町民みんなの防火・防災・救急に対する知識、技術の向上を図ることを目的に「視聴覚資機材」が整備されました。

コンサドーレ札幌 サッカー教室



9月26日、松城小学校体育館で、町内の小学生を対象に、コンサドーレ札幌によるサッカー教室が開催されました。

当日は52人が参加し、ボールを使ったミニゲームや、講師に質問をするなど楽しく授業が行われました。また指導していただいた清原辰也コーチからは、「去年も松前で講師として指導したが、上達したと感じた。とにかくボールを蹴り、基本を忘れず練習することが重要です」と子どもたちにエールが送られました。